



「家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく」吉川の子どもたち

令和4年4月8日

吉川市立北谷小学校

吉川市高富857番地

TEL 048-982-5158

FAX 048-984-5273

北谷小学校だより



新年度 子どもの可能性を引き出すために

校長 小林 央士

かつて桜といえば、入学式の象徴でした。今は温暖化のせいでしょうか、卒業式の風物詩になっています。でも、中川沿いに美しく舞う桜の花びらは、新しい希望の季節の到来を祝福しているかのようです。令和4年度がスタートしました。お子さんのご進級並びにご入学、誠にありがとうございます。

このたび、越谷市立北越谷小学校より異動し、ここ北谷小学校に着任しました校長 小林 央士と申します。これまで八潮市、久喜市、加須市、越谷市と異動を重ねてまいりました。吉川市は私にとっては初めての赴任地です。前任の校長先生方が先生方と、保護者・地域の皆様と大切に築いてこられた北谷小のよき伝統を受け継ぎ、子どもたちにとって学びがある活力ある学校づくりのために一生懸命がんばって参ります。宜しく願いいたします。

小林 智樹 前校長先生は、「子どもは無限の可能性をもち、その可能性を開花させることが教育の使命である」というお考えを大切にしておられました。本当にそのとおりでと思います。そのために、「子どもの力は身に付けさせるものではない。はじめからもっている力を引き出すものだ」という考えを大切にしたいと考えます。

私たちの体には、目に見えないスイッチがたくさん付いているといいます。あきらめず努力を続けていくと、ある日突然そのスイッチがバチーン！と入って、できなかったことができるようになります。わかりやすい例えが自転車です。補助輪を外した自転車に乗った子どもは、最初はひどくふらつきます。転んで泣いてしまうこともあります。でも、痛みを堪えて練習を続けると、ある日突然乗れるようになるのです。その時の喜びを、未だ覚えている方も多いことでしょう。逆上がりも同じです。手指のまめをつくっても、くじけず練習を続けると、前触れもなく突然できるようになります。その感動は喜びで全身を満たし、子どもたちの向上心、探求心の原動力になるのです。

この予め備わった力を引き出すには、本人の意欲と努力、そして周囲の助力が必要です。そのために、教職員や保護者・地域の方のかかわり方がとても大切です。

子どもの才能の片鱗や努力を見逃さず、「すごいね！上手だ！」「えらいね、立派だ！」と声を掛け、伸び悩んでいれば「あきらめないで。続ければ必ずできるよ。」「あなたなら絶対大丈夫！」と正しい学習や練習の方法を教え、寄り添い、励ましていく。それが学校、家庭、地域の大人の務めだと考えます。人間の一生は、見えないスイッチを入れる旅だといわれます。「子どもは無限の可能性をもつ」といわれる所以です。



「才能はたいていの人がもっているんだけど、才能のあるなしじゃなくて、それを発揮するエネルギーがあるかどうかです。」

80歳を迎えてなお、創作への情熱を絶やさない天才アニメーター、スタジオジブリの宮崎 駿先生のお言葉です。そのお言葉のとおり、子どもたちの心のエネルギーを高めることが大切です。そのために一人一人に寄り添い、励まし、意欲を高め、才能を発揮させ自己実現につなげる。そうした学校づくりを目指し、職員一同努力してまいります。

令和4年度も、北谷小学校を宜しく願いいたします。